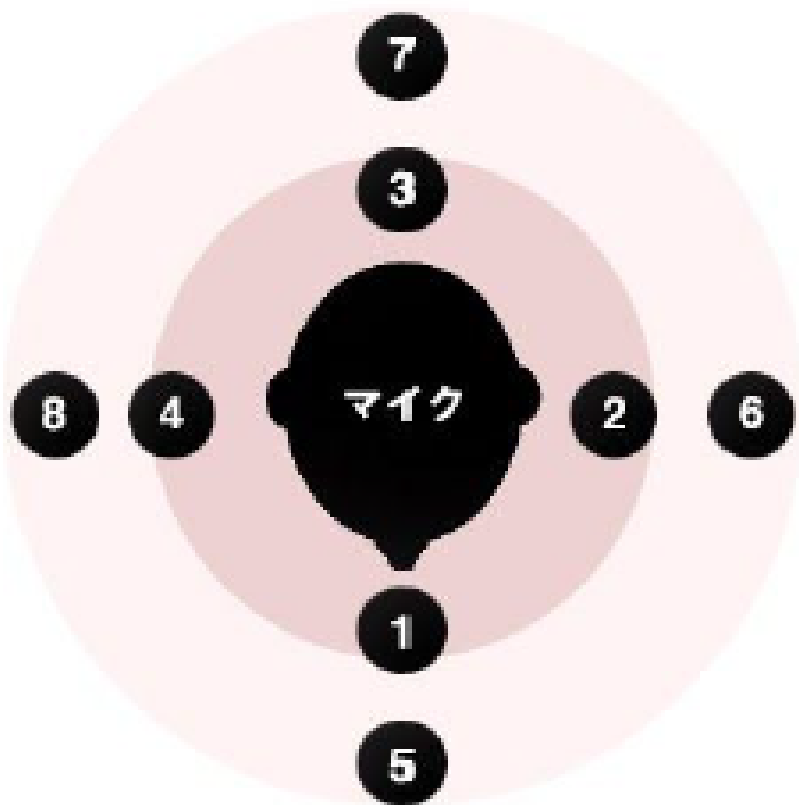


# 学園で有名な「のじゃろり」 ビッチ？先輩に堕とされる！

2022 ないちんげーる



※（ ）内は、ト書き。「」内が、台詞。

耳元で囁いてほしい台詞は赤字で表記。

収録時の位置は青字で表記しています。

演技指導（オレンジ）に秒数が書いてありますが、あくまで目安として捉えるように  
お願いします。

# //トラック1

//SE：ドアの開閉音

//位置指示：正面5

「おっ、その気配は……後輩くんじゃなっ！」

「はははっ……！ やっぱり正解じゃ。ちょうどいいところにきおったな」

//演技指示：「そ、それは、たまたま……」の部分は徐々に自信なさげに  
トーンダウンするように その反動で「じゃなくって！」は少し大きめで

「どうして分かったかって……そ、それは、たまたま……じゃなくって！  
気配でなんとなく分かったんじゃよ」

「その目は疑っておるなあ。わ、儂が言ったらほんとなんじゃ！  
なにせ、儂は昔からこの部室に住み着いておるからの。気配で誰が来たかなど  
簡単に分かってしまうんじゃ」

「どれくらい前からとな……むむむ、少し難しい質問じゃな。多分ずっと昔からじゃ」

「適当とはなんじゃ適当とは。仕方がなかりょう、そんなこといちいち覚えてないん  
じゃから」

「その心配はいらんぞ。きちんと学園長にはずっとこの学園に居ていいという許可を  
得ておるからのう」

「そこまでしてずっと学生を続けてる理由……それは簡単な質問じゃな。ただ単に儂が  
社会に出て働きたくないからじゃ。だって、めんどくさいじゃろ？ せっせと汗水  
たらして働くなど」

「ふふ、そうかそうか羨ましいか。後輩くんにはこのような特別待遇は無理じゃろうからな～。……って、こんなことしてる場合じゃなかったんじゃ！　そういえば後輩くんに頼みたいことがあったのを、すっかり忘れておった」

「このテレビを直してほしいんじゃ。後輩くんが来るちょっと前まではついてたんじゃが、ぷつぷつ切れたきりつかなくなってしまってた。困ってるんじゃ」

//SE：足音 数歩

//位置指示：正面1

「どうじゃ？　直せそうか？」

「う～ん、難しいか……ならば、最終手段じゃな」

//SE：テレビを叩く音 二回 次の台詞に合わせて

「えいっ……！」

「な、なんじゃ～、止めるでない！　昔からこうすれば直ると言われてるんじゃ。何も知らない後輩くんは黙って見ておれ！」

「ほら、言った通りじゃ。ついたじゃろ？　これが野地谷式テレビの直し方じゃ。はっはっはー！　これなら軟弱な後輩くんに頼まず、最初からこうするべきじゃったわ」

「さ～て、これでやっとなゲームの続きが出来るぞ」

//SE：ピコピコ音 次の台詞に合わせて

「えいっ、それっ！　はっ！　ちょー！　ぐ、ぐぬぬう……っ」

//SE：ゲームオーバー音

「うう……っ！　またやられてしもうたのじゃ……もう少しじゃったのにい……っ！」

「へ、下手じゃと……？　言ってくれるのう……言っておくが、儂が下手なんじゃなく  
こやつが貧弱すぎるのじゃ～！　なんでもない高さから落ちただけで死ぬなんて、  
どんだけ貧弱なんじゃ、キーッ！！」

「嘘などではない！　嘘だと思えば後輩くんもやってみるといい」

//SE：ピコピコ音　次の台詞に合わせて

「もっとも、軟弱者な若造には到底クリアなど、出来はしない……」

//SE：ゲームクリア音

「な、なんじゃと！？　く、クリアしおった……っ、しかも一発で。こんなこと  
ありえぬ、ありえんのじゃー！」

「なぜだ、なぜなのじゃ……後輩くんに出来て、儂にはなぜ出来んのじゃ！」

//SE：じたばたする音　次の台詞に合わせて

「う～……！　悔しい！　悔しいのじゃ！」

「む？　どうしたのじゃ？　そんな顔を背けて……。あ！　もしや儂のことをバカに  
しておるな？　笑いを必死に抑えてるんじゃろ？　よく顔を見せい！」

「ん？　なんじゃ、顔が赤いではないか。熱でもあるのかのう？」

「むむ……もしや、儂がじたばた暴れてるのをいいことに、スカートからちらりとのぞく

下着を見て興奮して鼻の下を伸ばしておったのではなからうな……？」

「ほんとかのう……？」

//SE：スカートをパタパタする音 次の台詞に合わせて

「ほ〜れ、ほれほれ……っ！」

「そんなに顔を背けて、初心で可愛いのを。僕のスカートの中が見たいんじゃろ？」

恥ずかしがらずに素直になってもいいんじゃぞ。……それにしても、学園でもビッチで有名な僕のスカートの中をみたいとは、後輩くんもなかなか面白い男じゃ。それとも、もっと先のことがしたいのかのう……？」

「ばかたれっ！ 本気にするやつがあるか！ 言うに事欠いてき、キスなどのたまにおって、破廉恥じゃぞ」

「お、怖気づいてなどないわい！ さっきも言った通り、僕は学園では有名なビッチなんじゃ、怖気づくわけなからう！」

「ど、どうしてもしたいのか？ ほんとの本当にしたいんじゃな？」

「そこまで言うなら、僕とのキスを特別に許可してもよからう。ただし、や、優しく頼むぞ……」

「ちゅっ、ちゅう、ちゅっ、ちゅう……っ。な、なかなか上手ではないか」

「ぎ、ぎこちないわけなからう！ キスなど、もう数え切れんほどしとるのじゃぞ！ そ、そっちこそ、ぎこちないのではなからうな！？ こ、こんなキスじゃ、僕は満足せぬぞ」

//演技指示：ディープキス キスの途中から無理やり舌を入れられた感じで 10秒

「ちゅっ、ちゅ、ちゅう……ん、んっんうっ！ れろお……れろ、れろ、れろ、れろお……っ、はぁ……」

//演技指示：「こんなの初めて」は小声で

「な、なんじゃこのキスは……こんなの初めて……じゃなくって、よ、ようやく儂が満足出来るようなキスじゃ。やれば出来るではないか」

//演技指示：しったかぶった感じで

「これはあれじゃろ……いわゆる、なんじゃったか……」

「おお、そうじゃ、ディープキスじゃ！ するのが当たり前すぎて名前をド忘れしていたわ」

//演技指示：新しい言葉を覚えて、その嬉しさが隠し切れない感じで

「気を取り直して、そのディープキスとやらをもっとしようではないか」

//演技指示：ディープキス 15秒

「ん、ちゅ、んっ……れろお……っ、れろちゅっ、ちゅう、れろ、れろ、れろっ……  
ちゅれろお、れろれろお、ちゅ、ちゅう、ちゅっ、れろおっ、れろっ、  
れろれろお……っ！ れろれちゅ、ちゅれろおっ、れろれろれろお……ちゅう、  
ちゅう、ちゅう……」

//SE：チャイム

//演技指示：切なそうに

「な、なんじゃ、やめてしまうのか……？」

「講義があるとな。そういうことは、はよう言え！」

「まったく……後輩くんは真面目じゃのう。まあそれも仕方なからう。儂と違って卒業がかかるとるからのう。それに、ここから先は経験の少ない後輩くんじゃ刺激が強すぎる。まあ、儂には造作もないがな！」

「講義頑張るのじゃぞ……！」

//SE：ドアを開ける音

「……って、ほんとに行く奴があるか！ これは儂なりの行ってほしくないって気持ちじゃっ……！」

「乙女心は複雑なんじゃ。時には素直になれぬ時もある。今はそういう気分なのじゃ……説明させるでない。恥ずかしいではないか……っ」

「ちょ、ちょっと待つのじゃ……っ！ こ、ここまで言わせてほんとに行ってしまうのか！？ ふんっ……意気地なしめが、さっさと行ってしまえ……」

//SE：ドアを閉める音

「なんじゃ行かぬのか……？ あまり人をからかうでないぞ。そんな思わせぶりな態度をとられたら儂はもう……この気持ちを我慢出来ん……」

//SE：衣擦れ 次の台詞に合わせて

//演技指示：喘ぎ声 ゆっくり控えめに 服の上から胸を揉んでいるイメージ 5～10秒

「ん……あ、はあ、んっ……あっ、はあ、んん、んう……っ、はあ、んっ、あっ、あっ……」

「ほ、ほんとはお主になど、こんな姿見せとうなかった……っ。じゃが、忘れられぬのじゃ……  
！ さきのディープキス、とても気持ち良かった……その気持ちが忘れられぬ。  
欲を言えばもっとしていたかった……」

「思い出すと切なくなって胸が苦しいのじゃ……っ」

//SE：衣擦れ 台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ60～70

//演技指示：喘ぎ声 ゆっくり控えめに 服の上から胸を揉んでいるイメージ 10秒

「ん……あつ、はあ、んあつ……あつ、はあ、はあ、んんう、んう……あつ、  
はあ、んっ、んっ、んあつ、あつ……」

「こ、こうして胸を触ると、不思議と少しだけ切なさが紛れるような気がするのじゃ……」

「人に見られながら、んう、はあ、はあ……っ、自分で自分を慰めるなど、なんたる辱め……恥  
ずかしくて死んでしまいそうじゃ。はあ、はあ……そ、それもこれも、あつ、はあつ、んんう  
……っ、後輩くんが全部いけないんじゃ……っ」

//SE：衣擦れ ループここまで

「ま、待つのはじゃ！ 行かんでくれ……っ！ ここまで来たら儂ももう吹っ切れた。じゃから、  
こ、このまま……！ 儂が一人で慰めるところを見ていてくれぬか？ 後生の頼みじゃ……っ」

「い、いいんじゃな……？ それじゃあ、そこで見ていてくれ……」

//SE：衣擦れ 次の台詞に合わせて

//演技指示：喘ぎ声 ゆっくり控えめに 服の上から胸を揉んでいるイメージ 5～10秒

「ん……あ、はあ、んっ……あつ、はあ、んん、んう……っ、はあ、んっ、あつ、  
あつ……」

//SE：衣擦れ 次の台詞に合わせて

「もっと、もっと、じゃ……」

//演技指示：喘ぎ声 徐々に大胆に 10～15秒

「んっ、ああ、はあ、はああっ……！ あっ、ああ、んんう……っ！ あっ、  
ああ、んあっ……！ はあ、あっ……！」

「はあっ、あっ、す、すごい……っ、はあ、あ、あん……ちょ、直接触ると、  
す、すごいじゃ……」

「はあっ……後輩くんの匂い……っ、まだ少し残っておる……」

「すんすん……すん……とっても、いい匂いじゃ……」

「この匂い、んっ、ああ……好きい、っん、はあ、かも……っ、ああ、はあ、  
んんう……っ、乳首きもちい……っ」

//演技指示：喘ぎ声 大胆に 15秒

「んっ、ああっ！ はあ、はあっ、はああっ……！ ああっ、ああ、あん、んう、  
あ……っ、あっ、あ、あっ、あ、あ……っ、んあっ、はあ、はあっ、ああっ……！」

「はあ、ダメじゃ……胸だけでは我慢出来ん……っ」

//SE：衣擦れ

「あそこも疼いてしまって、もうとろとろじゃ……」

//SE：水音 次の台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ80

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「んっ、んう、ああ、はあ、はあ、んあっ……！ ああっ、ああ、んんう……っ！ あっ、ああ、んあっあっ、あ、はあ、あっ……！」

「自分で自分を慰めるなどと……はあ、んああ……っ、愚かな行為じゃ……  
んあっ、あ、あっ、じゃが……分かっておるのに、あ、あっ、ああ、んう……手が止まらぬ……っ」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「んっ、んう、ああ！ はあっ、はあ、んあっ、あっ、あ……っ！ ああっ、ああん、んんう……っ！ あっ、ああん、んあっ、あっ、あっ、はあっ、あっ……！」

「あやつがいけないのじゃっ、あっ、やあっ、はあっ、ああっ、んっ……！  
中途半端なところでやめてしまうからあ、あ、あっ、んあっ、はあっ……わ、儂は悪くないのじゃ。あ、あんないいところで、んう、んあっ、やめてしもうたら、はあ、ん、んう……悶々とするのも当たり前じゃろう……っ」

「不思議じゃ、自分で自分を慰めて切なさを紛らわそうとしておるのに、さっきのことを思い出せば思い出すほど切なさが溢れて、身体が熱く……」

//SE：水音 テンポ90に変更

「手の動きも、うんう、はああ、あん……！ 自然と速くなって、んっ、あっ、しまう……っ。き、気持ちいい……っ、はああ、あん、んあっ、ああっ！  
気持ちいいのじゃ……っ」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「はああ、あんっ！ んう、ああ！ はあっ、はああっ、んあっ、ああっ、あ……っ！  
ああっ、ああん、んんう……っ！ あっ、ああん、んあっ、あんっ、あっ、はあっ、  
あっ、んう……！ あっ、ああ、あっ、あっ、ああ、ん……っ」

「んあ、はあ、ああう、はあっ……切ない気持ちのはずなのに、ああ、はああ、ん、  
んうっ……ど、どうしてこんなに気持ちいいんじゃ……っ」

//SE：水音 テンポ100に変更

「どんどん激しくなって……」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「はあん、んう、んっ、あっ！ はああ、はあっ、んあっ、あっ、あん……っ！ あっ、 ああ  
んっ、んう……っ！ はあ、ああっ、はあっ、あんっ、ああん、んあっ、んあっ、 んあっ、  
はあっ、あっ……！」

「はあ、はあっ、あっ、んんう……！ な、なんじゃこの感覚……！？ はああ、  
はあっ、んう、んあっ、ああっ！ こ、こんなの知らぬ、分からぬぞ……っ！ はあ、 ああ、  
はあっ、あっ、ああ、うあっ、んあっ……な、何かがせりあがってくるような  
この感覚はなんなんじゃ！？」

//SE：水音 テンポ110に変更

//演技指示：喘ぎ声 かなり激しく 10秒

「んうっ、はあっ、んう、んはあっ！ ああ、あっ、あっ、あん、うんう、んあっ……！  
はあっ、はあ、んあっ、あっ、あ……っ！ あっ、ああん、んあっ、あっ、あっ、  
はあっ、あっ……！」

「はぁあっ、あぁっ、あぁっ！ 何かが来る、来ちゃうぅ……っ！ んぁあっ、あう、  
はぁ、はぁあっ、あっ！ 来ちゃうのじゃっ！ はぁっ、あっ、はぁぁ、んっ、  
はぁぁぁあっ！ んっ、んんんうううう……っ！」

//SE：水音 ループここまで

//演技指示：乱れた呼吸を整えるように

「はぁぁ、はぁ、はぁ……っ、なんじゃ、今のは……快楽が弾け、一気に押し寄せて  
きたような感じは……あそこもまだじんじんしておるわ。あまりに気持ち良さに  
昇天してしまいそうじゃった。なんだか癖になりそうじゃ……」

「はぁ……結局、後輩くんが見ていることも忘れて夢中になって自慰に耽ってしもうた……  
儂はなんてことをしてしまったんじゃ～！ 後悔に押しつぶされそうじゃ……」

「後輩くん、この事は絶対ぜ～ったい他のみんなには内緒じゃぞ！ 他言は無用じゃ。なんなら  
今日あったことはもう忘れい！ いいな？」

//演技指示：ここは嫌悪ではなく恥ずかしさから表れた態度なので少し恥ずかしさが残る  
感じで。嫌悪感は一切出さないようお願いします

「分かったならもう行ってしまえ！ しばらく顔も見とうないわ……っ」

## //トラック 2

//SE：ドアの開閉音

//位置指示：正面 5

//演技指示：ポテトチップスを食べながらな感じ

「もぐもぐ……う～ん、誰じゃ～？ もぐもぐ……」

//SE：足音 数歩

//位置指示：正面 1

「おわぁっ！ こ、後輩くんではないか……っ！？」

//演技指示：少し素っ気なく

「いったい何の用じゃ？」

「この間のこと？ はて……？ 何のことかのう……」

//演技指示：「確かに～根に持っておるが」の部分は徐々に小声になるように。

そのあとの「あー！」は失言したことに気付いて慌てているため、声大きめで

「べ、別に怒ってなどおらぬわ。確かに中途半端だったせいで一人でする羽目になったのは 根に持っておるが……あー！ もう忘れたわ！ 大人の女は過去を振り返らないのじゃ！ とうか、忘れろと言ったはずじゃぞ？ わざわざ蒸し返すようなことをするでない！  
……それで、何しに來たんじゃ？」

「ほんとにこの間のことを謝りに來ただけとは、聞いて呆れるのう。後輩くんは少々堅物すぎるぞ。どうじゃ？ 儂と一緒に菓子でも食べぬか？ 少しはその堅物さも和らぐんではないか？」

「遠慮などしなくていいぞ。この大量のお菓子は儂が寝てると、勝手に増えていくからのう。不思議なことじゃが、きっと日頃の行いがいいからじゃろう」

「なんと……！？ 実は部のみんなが儂が寝てる間にこっそり置いていただけじゃと？ 儂はてっきり天からのお恵み物かと思っていたぞ」

「後輩くんはともかく、みんなが儂のことを子ども扱いしてるわけなからう！ 儂は断じて子供などではな—い！ もう立派な乙女じゃ。むしろ慕って、みんなお菓子を置いてるに違いないわい！それに、お菓子を食べる太るなど迷信じゃ。したがって、どれだけお菓子を食べても太る心配もないのじゃ」

「なんじゃその目は？ 疑っておるのか？ ……って、どこみとるんじゃ！ このスケベ！ 変態！ 食べてる割に胸が小さいなどと思っているじゃろうが、余計なお世話じゃ！ 堅物のくせにこういう時は人のことをからかいおって、許せぬぞお……」

「ああ、いいぞ。後輩くんのを啜えてしゃぶるなど、造作もないわ！ なんせ儂はビッチじゃからのう。大人のすごテクであっという間に射精させてやるわ！ あまりに気持ちよすぎて腰抜かすでないぞ」

「何をぼーっと突っ立っておる。はよう脱いで、そこのソファに腰かけぬか」

「わ、儂が脱がすのか！？ 全く仕方がないのう……これだから経験のない男はダメなのじゃ……」

//SE：ベルトを外す音

//SE：ズボンとパンツを脱がす音

//位置指示：正面1 少し下

「はうっ……！？ な、なんともグロテスクな珍棒なのじゃ……っ。ま、まあ、こんなもの見慣れておるがな。今まで見てきたものよりも少し大きくてびっくりしただけじゃ」

「なんじゃ？ 呼び方が気に食わんのか？ 珍棒以外に何と呼べばいいんじゃ」

「ちんぽ……とな。珍棒とあまり変わらない気がするが、まあ、いいじゃろう」

「それじゃ、く、啜えるぞ」

//演技指示：恐る恐る先っぽを舌で舐めるように 10～15秒

「あ、あむ……っ、れろ、れろ、れろ、れろっ……れろ、れろ、れろれろれろ……っ、れろれろれろれろっ……」

「どうじゃ？ かなり気持ちいいじゃろう？」

「全然足りんだと……このちんぽというものはどうなっとるんじゃ……。まあ、よい、少し本気を出そうではないかのう」

//演技指示：丁寧に先っぽを舐め上げるように 10秒

「ああむ……っ、れろ、れろ、れろっ、れろっ……れろ、れろ、れろっ、れろっ、れろっ……」

「へ、下手くそとはなんじゃ！ そもそも後輩くんはしてもらったことがないのに何故下手くそだと分かるんじゃ！ くそお……儂の本気はこんなものではないぞ！ 今に見ておれよ」

//演技指示：先っぽを大胆に舐め上げるように 10秒

「あむ……っ、れろおっ、れろっ、れろっ、れろお、れろれろお、れろっ、れろおっ、  
れろれろお、れろれろお…っ」

//演技指示：啜えたまま

「ふふああっ！？ なふあでおっひくなっふえ……っぶああっ……！」  
「中で大きくなるから口から出てしもうたわ。ま、まさかあれ以上大きくなるとは……  
先に言わぬか！ びっくりしたではないか。まあ、大きくなったということは、これで  
ようやく気持ち良くなってくれたわけじゃな……」

//演技指示：先っぽを大胆に舐め上げるように 15秒

「あむ……っ、れろおっ、れろおっ、れろっ、れろお、れろっ、れろおっ、れろっ、  
れろおっ、れろれろおっ、れろれろお……っ、れろっ、れろっ、れろお、れろおっ、  
れろっ、れろれろおっ、れろっ、れろっ、れろれろお、れろれろお……っ！」

「さすがにこの舐め方も飽きたじゃろう。こんなのはどうじゃ？」

//演技指示：先っぽで舌を転がして何度も小刻みに舐めるように 15秒

「あむ……れろれろれろれろ、れろれろれろれろれろれろ……れろれろれろれろ、  
れろれろれろれろっ、れろれろっ、れろれろっ……れろれろれろれろ、れろれろれろ  
れろれろれろっ……」

//演技指示：先っぽを吸うように 15～20秒

「ずちゅ、ずちゅ、じゅちゅっ、ずちゅ、ずちゅ、ずちゅっ……！ ずちゅっ、  
ずちゅっ、じゅっ、じゅっ、じゅちゅっ、ずちゅ、ずちゅっ……ずちゅる、  
ちゅる、ちゅるっ、ずちゅ、じゅちゅるう……っ」

「ちゃんと奥まで啜えて欲しいとな……い、言っておくが、先っぽだけでは満足しない  
ことくらい分かっておったからな！　ちょ、ちょうど、これから奥の方も啜えて  
やろうかと思っておったところじゃし……」

//演技指示：ちゅぱ音　少し控えめに　ゆっくり　10秒

「んちゅう……んちゅっ、んちゅっ、んちゅっ、ちゅう、ちゅむ、ちゅむう、んちゅ、  
んちゅむう、ちゅううう……ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅるう……」

「おい、口の中でビクビクさせるでない。やりづらいではないか」

「そうか、気持ちいいか……ならば仕方ないな。ふふふっ……儂はその言葉を待って  
おったぞ。もっとしてやろうぞ」

//演技指示：ちゅぱ音　ゆっくり　25秒

「はむ、ああむ、ん……っ。んちゅう……ちゅぷぷう……っ、ちゅっ、ちゅるっ、  
れろちゅう、れろれろおっ、んちゅう、ちゅう、んちゅ、んちゅ、ちゅぶっ、  
ちゅむっ、れろちゅっ、れろれちゅっ、ちゅう……。  
んちゅう、んちゅう、んちゅう。れろちゅっ、れろれろお、ちゅっ、ちゅぶっ、  
ちゅむ、ちゅむっ、ちゅう、ちゅぷう……れろちゅ、れろちゅ、ちゅちゅれろお……  
ちゅぷぷっ、ちゅううう……っ」

//演技指示：からかうように

「随分と余裕がなくなってきたようじゃな。先まで下手くそなどとのたまっていた  
小童はどこのだいつじゃったかのう……ふふっ」

//演技指示：ちゅぱ音　大胆に　20秒

「ああむ、ん……っ。んちゅう……っ！　ちゅぷぷう……っ！　ちゅっ、ちゅるっ、  
れろちゅうっ、れろれろおっ、れろれろお、んちゅっ、ちゅる、んちゅる、んちゅ、  
ちゅぷっ、ちゅむっ、れろちゅっ、れろれちゅっ、れろれちゅう……。  
んちゅうう、んちゅうう、んちゅうう……っ！　れろちゅっ、れろれろお、  
ちゅる、ちゅぷうっ、ちゅる、ちゅむっ、ちゅむっ！　れろちゅう、れろれちゅぷう  
……れろちゅ、れろちゅ、ちゅちゅれろお……ちゅぷぷっ、ちゅううう……っ」

「我慢せずとも、いつでも射精していいからの」

//演技指示：ちゅぱ音　深くまで啜えこみ丁寧に舐め上げるように激しく　20～30秒

「……はむ、あむ……。んちゅううう、っぱあ…！　んちゅうううう、ちゅぷぷううう、  
れろれろお、れろちゅっ、んちゅっ、んぷうっ……！　んじゅううう、んちゅっ、  
んじゅっ、ちゅむうう…っ、れろれるう、れろれろお……っちゅぱあ…っ  
んじゅるるう、んちゅっ、んちゅっ、んじゅっ、れろれるう、れるれろれろお、  
んちゅる、ちゅるるっ、ちゅっ、れろちゅっ、じゅううう……っぱあ…！」

//演技指示：啜えながら

「いふ……？　いふとはなんじゃ？」

//演技指示：ちゅぱ音　所々吸うように　激しく　15～25秒

「……んちゅううう……っ！　んちゅうううう、ちゅぷぷううう、れろれろお、ちゅ、  
んちゅっ、んちゅぷうっ……！  
んじゅうううっ、んちゅっ、んじゅっ、んじゅっ、れろれるう、れるれろれろおっ、  
れろれろお……れろじゅっ、れろじゅっ、んじゅっ、じゅ、じゅちゅうう……！  
れろれちゅう、ちゅじゅう、じゅ、じゅっ、んじゅ、んじゅっじゅっ、んじゅっ、  
んじゅっ、ちゅむううう……っちゅぱあ……っ！」

//SE：射精音　次の台詞に合わせて

「ひゃあっ……！ な、なんじゃ！？　しゃ、射精しておるのか……す、すごい勢いじゃ……っ」

「そ、そんなことよりも射精する直前になぜ儂をちんぽから離れたんじゃ？　おかげで精液がそこら中に飛び散ったではないか。顔にまで少しついてしもうたわ」

「イきそうだったから、とな……？　さっきも言っていたが、そのイクというのはなんなんじゃ？」

「そうか……イクというのは射精するという意味なのか。つまり儂の口の中で射精せぬよう離れたわけか……気に入ったぞ。儂が特別に精液まみれのちんぽを綺麗にしてやろう」

「なあに、遠慮するでない。このようなこともしょっちゅうしておるからの」

//お掃除フェラ　丁寧に舐め上げるように

「れろお、れろれろおっ……れろれろれろれろ、はぁむ……っ、んちゅ、ちゅる、ちゅれろお、ちゅる、ちゅむっ、ちゅむっ、ちゅるるううう……っ。　ぶぁぁ……っ」

「……どうじゃ、これで綺麗になったじゃろう……って、またちんぽを大きくしているではないか。節操のない男じゃのう、後輩くんは……。　まぁそれでも儂は構わんがな！」

//SE：ソファに押し倒された音

//位置指示：正面1

//位置指示：右4

//演技指示：右耳舐め　下から上に舐め上げるように

「れろお……っ、れろお、れろれろれろれろお……」

//演技指示：右耳囁き 指定箇所まで

「どうじゃ？ 儂とまぐわう気はないか？ というか、これは強制じゃ」

「自分のことを好きではない相手とはしたくないじゃと！？ これだけむーどを  
作っておいて断るとはどれだけ真面目なんじゃ！ 仕方がない、儂も素直になろう」

//演技指示：右耳囁き ここまで

//位置指示：左2

//演技指示：左耳囁き

「儂は好きじゃぞ……その……後輩くんのこと、異性として……」

「う、嘘なわけなからう！ 何一つ偽りのない儂のほんとの気持ちじゃ。さっき気に入ったと言ったじゃろ？ あれはそういう意味も含んどったんじゃよ  
……って、言わせるでない！ 恥ずかしいじゃろうが」

//演技指示：左耳囁き ここまで

//位置指示：右4

//演技指示：右耳囁き

「というわけじゃから……頼む、儂を抱いてくれ……っ」

//演技指示：右耳囁き ここまで

//位置指示：正面1

「じ、自分から言っておきながらあれじゃが、ほ、本当にいいんじゃない？」

「そ、そうか……それなら、や、優しく頼むぞ……」

//SE：足音 遠くで何歩か

「ぬ……っ、この音は……」

「しっ……！ 声を出すな！ みんなが帰ってきておる！ はようズボンとパンツを履けい。  
せっかくいいとこじゃったが、お預けじゃな……」

## //トラック 3

//位置指示：正面 5

//SE：ドアをノックする音

//ドア越しのためくぐもった声で

「お～、きおったか。待っておったぞ」

//SE：ドアを開ける音

//位置指示：正面 1

「さあ、遠慮せず入るがよい」

「こっちじゃ。ちゃんといってくるのじゃぞ。うちは少々広いからのう。

迷子にならぬようにな」

//SE：足音 台詞に合わせて指定箇所までループ

「すごいじゃろ？ 儂の家はとにかく広いのじゃ！ 本来なら、身内以外は絶対入れないのじゃが、後輩くんだけに特別に入れる権利をくれてやったのじゃ。感謝するといいぞ。これからはいつでも来ていいからの」

「はっはっはー！ もっと感謝し、褒めるがいいわ！ まあ儂が住んどるのはこの離れの小屋じゃがな。訳あって居候させてもらってるのじゃ」

「しょ、しょぼくなどないわー！ バカにしおってえ……っ。入れてやらんぞ。ここで儂が見捨てれば、後輩くんはひろーい屋敷で迷子になり帰れなくなるぞ。いいのかの～。謝るなら今の内じゃぞ」

「よーし、分かればいいんじゃ、分かれば」

//SE：足音 ループここまで

//SE：ドアを開ける音 次の台詞に合わせて

「さあ、入ってよいぞ」

//SE：ドアを閉める音

「さあて……今日儂がここに呼んだ理由は分かっておるであろうな？」

//SE：押し倒した際の衣擦れ

「とぼけたって無駄じゃ。本当は分かっとるんじゃろ？ まぐわいじゃよ、  
ま、ぐ、わ、い……セックスじゃ」

「今日はこの間みたいに邪魔は一切入らん。母屋の連中も出払っておる。  
二人きりの時間じゃ」

「いいに決まってるであろう……儂は後輩くんとなら男女の関係になってもいいと  
思っとるんじゃ」

「強情な奴じゃな。それならこうじゃ……」

//演技指示：キス 激しく 10～15秒

「んちゅ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅう、ちゅっ…！ ちゅ、ちゅっ、ちゅ、ちゅう、  
ちゅっ…！ ちゅ、ちゅう、ちゅ、ちゅ、ちゅ…っ！」

「どうじゃ？ 少しはやる気になったじゃろ」

//演技指示：キス 激しく 15～20秒

「ちゅ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅう、ちゅっ…！　ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅ、ちゅちゅう、ちゅっ、ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅ、ちゅっ…！　ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅ、ちゅちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅ…っ！」

「はぁ……もっとしてもいいか？」

//演技指示：ディープキス　激しく　20秒

「……んれろお……っ、れるれろお、んうっ、はぁっ、れろれろおっ、れるれるれるれろおっ……！　れろれるう…っ！　はぁっ、んっ、んう、れろれるっ、れろれろお……っ！　ん、んう、れるれるれるれう、れろれろれるれろお……っ！　はぁ、はぁっ、んんう、れるれろおっ、れるれろお、れるれうう、れろれろお……っぶぁ……！」

「はぁ、はぁっ……も、もう我慢出来ん」

//SE：ベルトを外す音

//SE：ズボンとパンツを脱がす音

「後輩くんも同じ気持ちのようじゃな。もうちんぽがこんなにガチガチじゃ。このまま儂が跨ったまま入れるぞ？　よいな？」

//SE：挿入音　次の台詞に合わせて

//演技指示：感じながらも痛いのは隠し切れず、少し痛そうな素振りを見せつつ

「はがぁ……っ！　ぁっ、ぁっ、ぁぁっ！　ん、んう、んぁぁぁぁぁっ……！」

「い、痛くなどないのじゃ……そ、それよりもこれで全部入ったのか？」

「ま、まだこれでも全部じゃないのか……っ！？ た、頼む……！

最後は後輩くんが僕のまんこを貫いてくれ、お願いじゃ」

//SE：挿入音 次の台詞に合わせて

//演技指示：少し苦痛をあらわにしながら

「ひぐう……っ、はぁ、はぁっ……あふう、んう、あ、ああっ！ こ、今度こそ全部入ったのか……？ す、すごいじゃ……ちんぽが中で暴れておる……」

「わ、僕が初めてなわけなからう！？ ……いや、すまぬ。ほんとは初めてなんじゃ……好きな男と繋がれたのじゃ。見栄を張らずにきちんと真実を伝えねばな」

「素直になったらころなしか、痛みも和らいだ気がするわ。ここからは思う存分動くから覚悟するのじゃぞ」

//SE：抽挿音 台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ70

//演技指示：喘ぎ声 控えめに 10秒

「んっ、んあっ、はぁっ、はぁっ、ふっ、ふあっ、ふっ、んあっ、あんっ…… あっ、あっ、んっ、んあ……っ、ふあっ、あ、ああ、あっあっ、あぁっ……！」

「う～ん、思っていたよりも上手く動けないのじゃ……騎乗位というものはなかなか難しいのじゃ」

//演技指示：喘ぎ声 控えめに 15秒

「あっ、あんっ、んあっ、あっ、あぁっ、あっ……！ はぁっ、はぁっ、んん、んうっ……！ はぁっ、んああ、はぁっ、あっ、んあっ！ んあっ、あっ、んう、んっ！ あっ、はぁっ、はぁっ、あぁんん……っ！」

「はぁっ、ああ、ん……っ、よ、ようやく慣れてきたのじゃ」

//SE：抽挿音 テンポ80に変更

//演技指示：喘ぎ声 15秒

「はあ、はあっ、あっ、んあっ！ あっ、ああっ、あっ、あっ……！ はあっ、  
はあっ、んう、んあっ、あっ、あっあっ、んん、んうつ…！ はあっ、んはあ、  
はあっ、あっああっ！ んあっ、あっ、んうつ、ああっ、はあっ、はあっ、  
ああんっ…！」

「ど、どうじゃ。処女まんこの具合は？ 気持ちいいじゃろ？」

「ふふ……儂もじゃ……っ。この前とは比べ物にならぬくらい気持ちが良いぞ……」

「そ、それは聞かなかったことにしてくれ！ 少し口が滑っただけじゃ。決して  
後輩くんで自慰に耽ってなどおらぬ……って、言ってしまうたあ……っ」

「からかうでない！ そんな輩はこうじゃ……っ！」

//演技指示：キス 徐々に喘ぎ混じりに 15～20秒

「……んっ、ちゅ、ちゅっ……！ ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅっ……んちゅ、  
ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅう……っ、んはあ……はあ、んう、ちゅう、  
ちゅう、ちゅっ、んはあ、んう……っ。  
ちゅう、ちゅう……っ、ん、ちゅ、ちゅう……んっ、ちゅっ、ちゅ、ちゅう、  
ちゅう、ちゅ、ちゅう……っ、はあっ、はあ、んう……っ」

「……これでからかえまい。唇を奪ってしまえばこっちのものじゃ」

//演技指示：キス 徐々にディープキスに 喘ぎ混じりに 15～25秒

「んちゅっ、ちゅう、ちゅう、ちゅう……っ。……んっ、ちゅっ、ちゅう……んっ、  
んれろお、れるれろお、んうっ、はあっ……れろれろおっ、れるれるれる  
れろおっ……！  
れろれるう……っ！ はあっ、んっ、んう、れろれるっ、れろれろお……っ！  
ん、んう……っ、れるれるれるれう、れろれろれるれろお……っ！  
んあ、んっ、んんう、れるれろおっ、れるれろお、れるれうう、れろれろお……  
つぶあ……！ ちゅっ、ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅ、ちゅう……っ、はあっ、  
はあ、んう……っ」

//演技指示：ディープキス 喘ぎ混じりに 10秒

「んうう……っ、れるれろお、んうっ、はあっ、れろれろおっ、れるれるれるれろおっ  
……！ れろれるう……っ！ はあっ、んっ、んう、れろれるうっ、れろれろお  
……っ！ んっ、んう、れるれるれるれうう、れろれろれるれろお……っ！」

「……っふあ、はあ……キスをしながらも悪くないのう……もっとうしろ……っ」

//SE：抽挿音 テンポ90に変更

//演技指示：ディープキス 喘ぎ混じりに 激しく 15秒

「んう、んふう、んれろお……っ、れるれろお、んうっ、はあっ、れろれろおっ、  
れるれるれるれろおっ……！ れろれるう……っ！ はあっ、んっ、んう、れろれるっ、  
れろれろお……っ！  
ん、んう、れるれるれるれうう、れろれろれるれろお……っ！ はあ、はあんっ、  
んんう、れるれろおっ、れるれろお、ん、んあ、れるれうう、れろれろお……  
つぶあ……！」

「はあ、はあっ、ああ……っ。何をほうけておる。そ、そんなに気持ちいいのか……？  
はあっ、ああっ、ん、んああ……っ、わ、儂が初めてじゃからって、んんっ、んああ、  
はあっ……油断してすぐにイクでないぞ？ はあ、んあ、はあん、んっ、んう……  
気持ちいいことはまだ始まったばかり、じゃからな……っ」

//SE：抽挿音 テンポ100に変更

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15～20秒

「はあっ、あんっ！ んあっ、あっ、あっ、あっ……！ はあっ、はあっ、んん、  
んうっ……！ はあっ、んはあ、はあっ、んあっ、ああ……っ！ んあっ、  
あっ、んうっ、ああっ、はあっ、はあっ、ああんっ……！」

「ち、ちんぽが中でどんどん熱く大きくなっておるのが分かるぞお……っ、はあっ、  
んああっ、あっ、んっ……あまりの熱さにのぼせてしまいそうじゃ……。ん、  
んあ、あっ、い、イきそうなんじゃろ？ 我慢せずにいつでも出していいからの……」

//SE：抽挿音 テンポ110に変更

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「んあっ、んっ！ んあっ、んあっ、あっ、あっ……！ はあっ、はあっ！  
んんっ、んうっ……！ はあっ、んはあっ！ はあっ、んあっ、あっ！  
んあっ、あっ、んうっ、んっ、あっ、んはあっ、はあっ、ああんっ……！」

「よいぞお……っ、出せっ……儂の中に、思う存分出すがよい……っ！」

//演技指示：喘ぎ声 かなり激しく 10秒

「ああっ、あんっ……！ んあっ、あっ、んあっ、んっ……！ んはあっ、はあっ！  
んんっ、んうっ、んああっ……！ はあっ、はあ、はあっ、んあっ、ああっ……！」

//SE：射精音 次の台詞に合わせて

//演技指示：喘ぎ声 10秒

「はあっ、はあっ、んあ、あっ、んっ、んん……っ！ んはあっ、はあ、んっ、んんう ……  
んふううううっ……！」

「はあっ、はあ、はあ……っ、は、激しくしたら抜けてしもうた……せっかく既成事実  
を作ってやろうかと思っておったのに……残念じゃ。まあ、また次の機会じゃな……。  
それにしても出しすぎじゃぞ」

「儂のことをバカにしておったわりには情けなくこんなに出しおって、全く情けない  
男じゃなあ」

「……ひゃあっ！？ な、なんじゃ！？ いきなり持ち上げて……っ！ あ、足が  
つかん……っ、や、やめんか！ 今すぐおろすのじゃっ！」

「大人しくつかまってるって、一体何をする気じゃ……！？」

//SE：挿入音 次に台詞に合わせて

「ひゃ、ひゃあああああ……っ！」

「ど、どうしてさっきあんなに出したのにもうこんなにおっきくなっとるんじゃ…… っ！？  
しかもさっきよりも大きく……この節操なしが～……っ」

//SE：抽挿音 台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ90

「ひいやあっ……！ やっ、はあっ、あん……っ、か、勝手に動くでない……っ！  
ん、んっ、んあっ、はあっ、こ、後輩くんが主導権を握るなど千年早いの、  
じゃっ……」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「んあっ！ あんっ！ や、やあっ！ ああ、はあっ！ んあっ、ああっ、あっ、  
ああっ……！ はあっ、はあっ、んん！ んうっ……！ はあっ、んはあ、  
はあっ、あっ、んああ……っ！」

「はあ、ああ、ん、んっ……！ こ、この体勢……さっきよりも奥に当たって、  
気持ちいのじゃ……もっとしてくれ……」

//SE：抽挿音 テンポ100に変更

「はあっ、ああ、はあ、んあ……ん、ちんぽ突かれるたびに奥で響いて……んはあ、  
んあっ、あっ、んんう……っ！ 頭が真っ白になってなにも考えれなく、なって  
しまう……っ」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「はあっ、はあ、んあっ！ あっ、ああっ、んあっ、んあっ……！ はあっ、はあっ！  
んんう、んあっ……！ はあっ、んはあ、はあっ、あっ、んああっ！ んあっ、あっ、  
んうっ、ああっ！ はあっ、はあっ、ああ、あっ、あんっ……！」

「こ、この感じ……はあっ、んう……この間と一緒にじゃ……っ、気持ちいのがせり  
あがってくる感覚……っ、はあっ、あっ、んあ、ああ、んんう……っ！ くる……  
来ちゃう、のじゃ……っ！」

//演技指示：絶頂

「はあ、はあっ、はあああああんっ、ん、んっ、んううううん……っ！！」

//SE：抽挿音 ループここまで

「はあ、はあっ、はあはあ……っ。す、すまぬ……自分でもよく分かんが、気持ち  
よすぎて意識が飛びかけてしもうた……」

「そうか……これがイくという感覚なのか……なんという刺激じゃ。癖になって  
しまいそうじゃ……っ」

//SE：抽挿音 台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ110

「ひゃあっ、あぁっ、あっあっ……！ 言ったそばから何して、るんじゃあぁ……っ、」

「も、もうやめるのじゃ……っ、そんなに激しく突かれたら、またイってしまうのでは  
ないかぁ……っ」

//演技指示：喘ぎ声 下品に 10秒

「あおっ、お、おっ、おう……っ！ はぁっ、はぁっ、あおっ、あうっ、うおっ！  
ふっ、はぁっ、あおっ！ んおっ、あおっ、おおっ……！」

「い、イクのがやめられっ、ぬう……っ、まっ、またいつ、イク……っ！」

//演技指示：喘ぎ声 下品に 10秒

「んおっ、あお、うおっ、んあっ……！ あおっ、おお、あおっ、おう、  
おあっ……っ！ はぁっ、はぁっ、あおっ、おおっ……！」

//SE：射精音

//演技指示：絶頂

「んはぁっ、おうっ、うあっ、おあっ、あん！ はぁっ、はぁっ、んはぁっ……！  
んっ、んう！ んううううっううう……っ！」

「はぁぁぁ……っ、はぁぁ、はぁっ……も、もう何回イかされたか分からぬくらい  
イかされてしもうた……く、悔しいが儂もそこそこ気持ち良かったから今回は  
許してやるのじゃ」

「じゃ、じゃが……！ 次はこうはいかぬからな、覚悟するのじゃぞ！」

## //トラック 4

//位置指示：正面 5

//SE：ドアをノックする音

//SE：ドアを開ける音 少し間をおいてから

「ようやっと来たか。今日は遅かったではないか、待ちわびたぞ。さあ、入るがいい」

//SE：ドアを閉める音

//SE：ゆっくり鍵を閉める音 少し間をおいてから

「さあて……まずは落ち着いてお茶でも飲もうかの」

//SE：机にコップを置く音 二回

「さあ、遠慮せず飲むがいい」

//演技指示：台詞の終わりにお茶を飲む

「たまにはこうしてゆっくりお茶を飲むのもいいじゃろう……ずずっ」

「どうした？ 様子変じゃが、身体でもしびれたのか？」

「やっぱりそうか……ふふふっ、作戦通りじゃ！ 実はこのお茶には身体がしびれて動けなくなってしまう薬を入れておいたのじゃー！ まさかこんな上手くいくとは思わなんだ」

//演技指示：お茶を一気に飲み干すように

「……んぐ、ぐっ、んぐ……っ！ ぷはあーっ！ 上手いことってお茶も最高に美味しいのじゃ」

「極めつけにこの甘美なお香を嗅げば、お主のちんぽもたちまちギンギンのはずじゃ」

//SE：衣擦れ 次の台詞に合わせて

//位置指示：正面1 次の台詞を言いながら移動

「ふふっ……この間散タイかされた礼をたっぷりとしてやろうかのう……」

「ぐっ……な、なぜじゃ！？ 儂まで身体が動かんぞ……っ。

わ、儂のお茶には入れていないはずなのに……はっ！ もしや、儂が先ほど  
飲み干したお茶は後輩くんのでは……」

「んなー！ やっぱりそうじゃー！ 途中までは完璧だったはずなのにどうしてこうも  
上手くいかないんじゃ、ぐぬぬう……っ」

「おまけに儂までだんだん悶々とした気分になってきたような気がするぞ……

くう、なんとしたことじゃ。儂にもこんにゃに効くとは……おなごには効きづらい  
とほーむページにはかいてあったはずなのにいい……っ。嘘つきなのじゃあ！」

「と、とにかく、これで儂の企んどることが分かったじゃろ。今日はお主を犯し  
つくしてくれりゅのりゃ！ 覚悟するのら……っ！」

「な、なんりゃか呂律まで怪しくなってきたのりゃ……しえっかくの儂の後輩くん  
悩殺メロメロ作戦が台無しじゃ～……」

「い、言うに事欠いて好きなどとのたまうか！ か、からかうでない……！」

「えっ……ほ、ほんとなのか……？ 本当に本当なんじゃな……？」

//演技指示：嬉しそうなのを隠しきれていない感じで

「そうかそうか、後輩くんは儂のことを好きで好きでたまらないのか……ならばこの状況はうってつけじゃな。ちょうど身体の痺れも治まってきたところじゃ、このまま抱いてもよいか……？」

//演技指示：キス 求めあうように激しく 15秒

「んちゅ、ちゅっ、ちゅっ！ ちゅっ、ちゅう、ちゅっ！ ちゅう、ちゅっ……！  
ちゅ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅう、ちゅっ……！ んう、ちゅっ、ちゅう、ちゅっ、ちゅ、  
ちゅ……っ！」

//演技指示：キス 求めあうように激しく 徐々にディープキスに 10秒

「んちゅ、んちゅっ！ ちゅっ、ちゅう、ちゅう、ちゅっ……！ ちんちゅ、んう、  
んれろお……っ、ちゅれろ、れろれろれろれろお……。んちゅっ、んんう、  
んれろお、れろちゅ、れろれちゅう、ちゅっ……！ ちゅれろっ、れろちゅっ、  
ちゅ、ちゅ、ちゅ……っ！」

//演技指示：ディープキス 求めあうように激しく 15秒

「……れろお、れろれるれろお……っ、れるれろお、んうっ、れろれろおっ、れるれる  
れるれろおっ……！ れろれるう……っ！ んっ、んう、れろれるっ、れろれろお……っ！  
ん、んう、れるれるれるれう、れろれろれるれろお……っ！ んんう、ちゅ、ちゅう、れる  
れろおっ、れるれろお、れるれうう、れろれろお……っ」

//演技指示：ディープキス 所々吸うように 激しく 10～20秒

「……んれろお……っ、れるれろお、んうっ、ずちゅっ、ずちゅうう……っ！  
れろれろおっ、れるれるれるれろおっ……！ ずちゅ、ずちゅうう、ずちゅっ、  
れろれるう……っ！ んっ、んう、れろれるうっ、れろれろお……っ！ んんう、  
ずちゅう、ずちゅっ、ずちゅっ、れろっ、れろれろお……っ、れるれろおっ、  
れるれろお、れるれうう、れろれろお……っぷあ……！」

「……っはあ、はあっ……ふ、服、脱がしてくれぬか……？」

//SE：衣擦れ

「ありがとうなのじゃ……儂も後輩くんの服、脱がすぞ」

//SE：衣擦れ

//SE：ベルトを外す音

//SE：ズボンとパンツを脱がす音

「お香の効果はまだ切れとらんようじゃな。すっごく熱くたぎっておる……儂ももう我慢できそうにない。もうあそこもとろとろになっておる……はよう、入れてくれ……っ」

//SE：挿入音 次の台詞に合わせて

「はあっ、ああん、んう、んっ……」

「はあっ……お主の好きなように動いていいぞ」

//SE：抽挿音 台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ80

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「あっ、あんっ！ んあっ、あっ、ああっ、あっ……！ はあっ、はあっ、んん、んうっ……！ んはあっ、んああ！ はあっ、あっ、ああ、んあっ！ んあっ、あっ、あっあっ！ んう、んっ！ あっ、はあっ、はあっ、ああ、んん……っ！」

「はあっ、はあっ！ ああっ、ああ、んっ！ す、すごい、ぞ……っ！ 今までで一番気持ちよい、はあ、あ、んあっ、んう……のじゃっ……」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「あつ、あんつ、んあつ、あつ、ああつ、あつ……！ はあつ、はあつ、んん、  
んうつ……！ はあつ、んああ、はあつ、あつ、んあつ！ んあつ、あつ、  
んう、んつ！ あつ、はあつ、はあつ、ああんん……っ！」

「ちんぽが何度も奥に届いてっ……そのたびに飛びそうになる……っ！  
のじゃ……っ、はあつ、ああつ、あつ、ん、んあつ……もっと、もっとたくさん  
突いてくれ……！」

//SE：抽挿音 テンポ90に変更

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「あつ、あんつ、んあつ、あつ、ああつ、あつ……！ はあつ、はあつ、んん、  
んうつ……！ はあつ、んああ、はあつ、あつ、んあつ！ んあつ、あつ、んう、  
んつ！ あつ、はあつ、はあつ、ああんん……っ！」

「はあつ、あん、んうつ……き、気持ちい……っ、気持ちいのじゃ……んつ、んあつ、  
あん……っ。お、お願いじゃ、このままキスしてくれぬか……？」

//SE：抽挿音 テンポ100に変更

//演技指示：キス 吐息、喘ぎ混じりに 激しく 15秒

「……んつ、ちゅ、ちゅっ……！ んう、はあ、ん……ちゅ、ちゅう、ちゅう、  
ちゅっ……んちゅ、はあ、ん、ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅう……っ、んはあ……  
んつ、はあ、んう、ちゅう、ちゅう、ちゅっ、んはあ、んう……っ。ちゅう、  
ちゅう……っ、ん、ちゅ、ちゅう……んつ、ちゅっ、ちゅ、ちゅう、ちゅう、  
ちゅ、ちゅう……っ、はあつ、はあ、んう……っ」

//演技指示：キス 吐息、喘ぎ、ディープキス混じりに 激しく 15秒

「……んっ、ちゅ、ちゅっ……！ ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅっ……んちゅ、  
ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅれろお……っ、れろちゅう、れろちゅ……っ、  
んはあ、ん、んっ！ ちゅれろれろお、れろちゅう……んっ！ ちゅっ、  
ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅ、ちゅう……っ、はあっ、はあ、んう……っ！  
んはあ……はあ！ んう、れろちゅう、れろれちゅう、れろれろお、れるれろ  
れろお……っ、ちゅっ、んはあ、んう……っ」

「んはあ……っ、キスしながらセックス、好きじゃ……もっともっとして欲しい  
のじゃ……」

//演技指示：キス 吐息、喘ぎ、ディープキス混じりに 激しく 15秒

「……んちゅっ、ちゅっ……！ んうっ、れろちゅ、れろれちゅう、ちゅう、  
ちゅっ……んれろお、れろれろれろお、ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅう……っ！  
んはあ……はあ、んう、れろちゅっ、れろれろ、れろっ、れろれろれろ、  
れろれるう……っ、ちゅう、ちゅっ、んはあ、んう……っ」

「ちんぽが中で熱く大きくなっておる……イきそうなんじゃな。いいぞ、思う存分  
出せ……！」

//SE：抽挿音 テンポ110に変更

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「んあっ、あんっ、んあっ！ あっ、ああっ、あっ……！ はあっ、はあっ、んん、  
んうっ……！ はあっ、んあ！ はあっ、あっ、んあっ！ んあっ、あっ、んう、んっ！  
あっ、はあっ、はあっ、ああ！ んん……っ！」

//演技指示：キス 吐息、喘ぎ混じりに 激しく 10秒

「……んちゅ、ちゅっ！ はあっ、んう……ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅっ……んう、  
んっ、んちゅ、ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅう……っ！ んはあ……はあ、んう……っ、  
ちゅう、ちゅう、ちゅっ！ んはあ、んう、ちゅっ、ちゅっ！ ちゅう……っ」

「はあっ、はあっ、ああっ、はああっ……熱い精液い……っ、んう、んはあ、ああ……！  
ま、まんこの一番奥に注ぎ込んでくれ……っ！」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「あっ、あんっ、んあっ！ あっ、ああっ、あっ……！ はあっ、はあっ！ んん、  
んうっ……！ はあっ、んああ、はあっ、あっ、んあっ！ んあっ、あっ、んう、  
んっ！ あっ、はあっ、はあっ、ああ……っ！」

//SE：抽挿音 ループここまで

//SE：射精音 次の台詞に合わせて

//演技指示：喘ぎ声 激しく 5～10秒

「はあっ、ああ、あっ、あんっ！ んあっ、あっ、ああっ、あっ……！  
はあっ、はあっ、んん、んっ、んうっ……！」

「んう、っはあ……お香のお陰か、この間よりも熱くて溶けてしまいそうじゃ……」

//演技指示：キス 吐息混じりに 激しく 10秒

「はあっ、はあ……んっ、ちゅっ、ちゅっ！ んちゅ、ちゅう、んう、ちゅう、  
んっ、ちゅっ……んちゅ、ちゅう、んはあ……っ、ちゅ、ちゅう、ちゅう……っ！  
んはあ……っ！ はあ、んう、ちゅう、ちゅう、ちゅっ、んはあ、んうっ……」

「い、一回しても全然収まらん……なんという効き目じゃ……むしろもっとしたいと  
さえ思っておる……後輩くんもそうなんじゃろ？ ちんぽがガチガチのままじゃぞ」

「ふふっ……そうこなくてはな。また後輩くんの好きにしてよいぞ。今日は特別じゃ。  
儂らが結ばれた記念日じゃからな」

「よ、四つん這い、とな……？ ……こ、こうでよいのか？」

「裸で四つん這いじゃと助平な気がして少し恥ずかしいのじゃ……こんな格好させて  
一体何を考えておる」

//SE：挿入音 次の台詞に合わせて

「ひゃ、ひやゃあっ……！？」

「い、入れるなら一言くらい何か言わぬか！ びっくりしたぞ。それにこんな後ろから  
入れられては犬の交尾のようで、はしたないではないか」

「べ、別に嫌とはいっとらん……もう動いてよいぞ」

//SE：抽挿音 台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ90

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「あっ、あんっ、んあっ、あっ、ああっ、あっ……！ はあっ、はあっ、んん、んうっ……！  
はあっ、んああ、はあっ、あっ、んあ……っ！ んあっ、あっ、んう、んっ！ あっ、  
はあっ、はあっ、ああ！ んあ、あっ、ああっ！ ん、んっ！ んん……っ！」

「この体勢じゃと、お主の顔は見えぬが、ちんぽがずっぽし深くまで入ってきて  
気持ちいいのじゃ……っ」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「んうつ、んっ！ んあっ、んあ、あんっ！ んあっ、あっ、ああっ、あっ……！  
はあっ、はあっ、んん、んあ、ああんっ……！ はあっ、んああ、はあっ！ あっ、  
んあ……っ！ んあっ、あっ、んう、ん……っ！」

「つつ、突かれると奥でずんずん響いて……これ癖になりそうじゃ……っ。  
はあっ、はあ、んはあっ……！ もっと速く突いてくれ」

//SE：抽挿音 テンポ100に変更

「ああっ、んう、んあっ……だ、ダメじゃ、もう……うあっ、んっ、ああ……っ！  
気持ちいいこと……セックスのことしか考えられん……っ！ 何故こんなにも気持ち  
いいんじゃ……っ！」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「んう、んはあっ、あっ、ああっ！ あんっ、んあっ、あっ、んああっ、あっ……！  
はあっ、はあっ、ああん、んんっ、んうつ……！ はあっ、んあっ、はあっ、あっ、  
んあっ！ んあっ、あっ、あっ、ああ、んう、んっ！ あっ、はあっ、はあっ、  
ああっ、んあっ、んん……っ！」

「ああっ、んあ、あっ！ ああ、儂もイきそうじゃ……このまま一緒にイきたい  
のじゃ……」

//SE：抽挿音 テンポ110に変更

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「あっ、あんっ、んあっ、あっ、あぁっ、あっ……！ はあっ、はあっ、んん、んうっ……！  
はあっ、んあぁ、はあっ、あっ、んあっ！ んあっ、あっ、んう、んっ！ あっ、はあっ、  
はあっ、あぁんん……っ！」

//SE：抽挿音 ループここまで

//SE：射精音 次の台詞に合わせて

//演技指示：絶頂

「いっ、イク、イク……っ、イクイク……イクうううううっ……！ んっ、ん、  
んん~~~~~っ！！」

「またたくさん出されてしもうたわ……あのお香のお陰じゃな……」

//SE：抽挿音 台詞に合わせて指定箇所までループ テンポ90

「ひゃあっ、あっ！ んあっ……はあっ、あっ……ま、まだし足りないのか？  
どれだけすれば気が済むのじゃ！？ はあっ、あっ、んう、んあっ……！  
お、お香の効果とは言え、なんという絶倫ちんぽじゃ……っ。じゃが、儂は  
どこまでも付き合うぞ……後輩くんの恋人としてな……」

//SE：抽挿音 テンポ100に変更

「イったばかりなのにそんなに激しくしては……また……っ、はあっ、あっ、ん、  
んあっ、あっ！ イってしまうではないかぁ……っ！」

「はあっ、はぁ、んはあっ！ ああっ、んあっ、ああっ！ こ、後輩くんもイきそう  
なのか……？ いい、ぞお……っ、んはっ、んう、ああ！ あっあっ！ 出せ、  
出すのじゃ……！」

//SE：抽挿音 テンポ110に変更

//演技指示：喘ぎ声 激しく 10秒

「あつ、あんつ、んあつ、あつ、ああつ、あつ……！ はあつ、はあつ、んん、  
んうつ……！ はあつ、んああ、はあつ、あつ、んあつ！ んあつ、あつ、  
んう、んつ！ あつ、はあつ、はあつ、ああんん……っ！」

「好きっ……好きじゃ……っ！ はあつ、ああつ！ あつ、んあつ、はあつ、  
ああ……っ！ 愛しとる……っ！ じゃから、三回目のとびきり濃い子種を儂の中に  
注いでくれ……っ！！」

//演技指示：喘ぎ声 激しく 15秒

「あつ、あんつ、んあつ、あつ、ああつ、あつ……！ はあつ、はあつ、んん、  
んうつ……！ はあつ、んああ、はあつ、あつ、んあ……っ！ んあつ、あつ、  
んう、んつ！ あつ、はあつ、はあつ、ああ！ んあ、あつ、ああつ！ ん、  
んっ！ んん……っ！」

「はあつ、ああつ！ 好き、好きっ！ 好き、じゃ……っ！ 大好きじゃ！ はあつ、  
んあつ、あつあつ！ あああつ、んあつ、ああ、はあ……っ！ 好き、好き好きい  
……っ、んっ、んう……っ」

//SE：射精音 次の台詞に合わせて

//演技指示：絶頂

「はあつ、はあつ！ ああ、ああつ、んんう……っ！ いつ、イぐつ、イぐう……っ  
、イくイぐ……っ、イくうううううつ……！ んっ、ん、んううううううつ！！」

//演技指示：乱れた呼吸を整えるように

「はあつ、はああ、はあつ、はあ……っ。な、なんて温かいんじゃ……」

「こんなにも乱れてお互い疲れてるはずなのにまだまだし足りないのお……っ。このお香の効果は想像以上じゃった……もう使わぬようにせねば。まあ、もう使うことはないじゃろうがな」

「しっかりこうして後輩くんと結ばれたからのう」

「……ん……ちゅっ！」

「まだ僕は満足しとらん。じゃから今度はたくさんキス、して欲しいのじゃ……」

//演技指示：キス 深く長く濃厚に 15秒

「……んっ、ちゅ、ちゅっ……！ ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅっ……んちゅ、ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅう……っ、んはあ……はあ、んう、ちゅう、ちゅう、ちゅっ、んはあ、んう……っ。  
ちゅう、ちゅう……っ、ん、ちゅ、ちゅう……んっ、ちゅっ、ちゅ、ちゅう、ちゅう、ちゅ、ちゅう……っ、はあっ、はあ、んう……っ」

//フェードアウトする感じで締め

## //トラック5（エピローグ）

//位置指示：正面1

「ふう……っ、やっとお香の効果が切れてきたわい。今日はすごかったのう。

お互い乱れに乱れてしもうたな。儂が生まれてかれこれ千年ほどじゃが、契りを結んで子種を欲しいと願ったのは後輩くんだけじゃ。お陰で三回も中に子種を出されてしもうたわ。さすがに三回も中で出されれば妊娠確実じゃろう。

もし、後輩くんの赤子を孕んだらきちんと責任取ってもらうから覚悟しておくんじゃぞ」

「孕める年齢なのか、じゃと？ まあたバカにしおって。こう見えてもきちんと大人なんじゃ」

「馬鹿者！ 女の子に軽い気持ちで歳を聞くでない！ はしたない輩め」

「と、友達だってたくさんおったわ！ 後輩くんは知らぬじゃろうが、儂は今でも有名な俗にいう偉人たちと仲良しだったのじゃ」

「具体的には重信公や梅子ちゃん、諭吉くんとは大の仲良しだったのじゃ。

特にあやつの学問のすすめというやつは難しすぎてつまらんと言って、つき返してやったほどじゃ！

あんなに馬鹿やった漢垂れどもが小生意気に儂よりも有名になったことは少々不服じゃが、儂は鼻が高いぞ！ どうじゃ？ すごいじゃろ！」

「後輩くんも言ってくれるのう……友達なだけでもすごいことなんじゃぞ！ 儂は幼き頃からそ奴らの才を見抜いていたというわけじゃからな！」

「ほ、ほんとに決まっておるじゃろうが！ 証拠はないが、儂がほんとと言ったらほんとなんじゃ！」

「儂が何者か知りたいのか？ う～ん……後輩くんには特別に教えてやってもいいんじゃないが、疑っておったからまだ教えぬのじゃ。またいつか教えてあげるのじゃ……いつかは分からんがな……ふふふっ」